

保護者の皆様へ

安宅中学校長 坂谷 敦子

学校評価に関わる保護者アンケートの結果報告

長らくご迷惑をおかけしていた校舎の耐震工事及び校内の大規模改修工事も無事終了して、9月1日予定通り2学期の始業式を迎えることが出来ました。1日、2日は校内の修復作業に全校生徒が一生懸命に関わってくれ、午後からはまた部活動の生徒たちが煩雑で細かな部分を引き受けてくれたおかげで、昨日より朝から正常な学校活動を開始することが出来ました。新装になった給食室からのおいしい給食も再開しました。グラウンドで運動会の練習も行うこともできました。

さて、1学期末にご協力いただきました保護者アンケートの結果をお知らせいたします。また、同時期に生徒アンケート、教職員アンケートもとっており、こうしたアンケートなどを参考資料にして学校評価の中間報告書を8月中旬に作成し、市教委に報告しました。学校のホームページにも公開していますので、いろいろ気づかれた点がありましたら、ご遠慮なくご指摘下さい。引き続き保護者や地域の皆様に信頼していただける学校づくりを目指したいと思っております。

- * 集計結果の見方** (回収人数 1年：84名 2年：66名 3年：87名 合計237名)
 評価の欄の数値は、それぞれの設問に回答した全体数に対して、肯定的な回答(④と③)をしたものの割合を%で示したものである。比較として昨年の同時期の結果も併記した。

④よくあてはまる	③まあまああてはまる	②あまりあてはまらない2	①あてはまらない
----------	------------	--------------	----------

I 学校の教育活動に関して

項目	設 問 内 容	評価 (%)	
		今年	昨年
1	P T A総会やその際の資料(教育の指針)、学年懇談会などで学校の方針や取り組みのことが理解できた。	94	85
2	学校は行事予定や生徒の活動の様子を学年便りや学校のホームページ、学校メールなどでよく知らせている。	82	83
3	学校は交通安全や危険回避等の指導を適切に行っている。	87	81
4	地域で見かける生徒の登下校時の様子(交通マナーなど)は適切なものである。	68	
5	生徒は挨拶がよくできる。	68	55
6	学校は子どものことについての不安や相談に適切に応じてくれている。	83	78
7	先生方は生徒指導上の問題に対して、きちんと対応していると思う。	85	69
8	先生方の服装や言葉遣いは節度のあるものだと思う。	89	92

《 集計結果からの分析および説明 》

* 項目1について

- ・4月のP T A総会の折に、資料「教育の指針」を使いながら今年度の本校の教育方針等についてお話しさせていただきました。特に23・24年度市教委指定の「学力向上研究推進校」になっていることのご理解とご家庭からの支援やご協力のお願ひも致しました。

* 項目2について

- ・学校の様子や行事、生徒の活動をもっとリアルタイムでお伝えしたいと考えています。これには学校のホームページが有効な提供手段だと考えており、その充実に努めていきます。また、この4月からは保護者の携帯への「安中安心メール」の導入を開始しました。保護者の皆さんへの緊急連絡はもちろんです。できるだけ必要な情報提供の際にも活用していきたいと思っております。現在、70%の登録率です。100%になりますよう、ぜひ登録へのご協力をお願いします。

*項目3・項目4について

- ・項目3については学校を預かる責任者として何にも優先して気を配るべきだと考えていますし、職員や生徒たちにも日頃から言っていますが、項目4を見ると、学校から離れた地域の中では一部気がかりな様子が見えるのだと理解しました。実際、地域の方からマナーの悪さや危険性についてお電話を頂くこともあり、学校とご家庭と双方向での指導が必要かと思えます。

*項目5について

- ・挨拶は今年の重点指導項目に挙げて実践しています。合い言葉は『されたらする挨拶からの脱却』で、生徒も教師もまず「自分から挨拶する」ことを心がけています。外部からもほめていただくようになりましたが、まだまだ目標値には到達しませんね。挨拶は人としての一番基本的な部分ですが、学校だけで出来るものではありません。地域や家庭など子どもに関わる全ての大人たちが挨拶し合う姿が当たり前に見られる環境作りが大切なのではないのでしょうか。

*項目6、7、8について

- ・学校は生徒が安心して学べる場所であり、保護者もまた安心して通わせることができる場所であらねばと考えています。「信頼できる学校」には「信頼できる教師」がいることがその前提であり、そうした教師集団でありたいと思っています。誠意と熱意を持って、子どもたちや保護者の皆さんと向き合いたいと皆頑張っていますが、不十分な部分や気づかない部分をご遠慮なくご指摘下さい。

II 我が子の1学期の様子や家庭での様子について

保護者の皆さんには、お子さんについてどうかということをお聞きしました。学校では、生徒アンケートとして子どもたちにも自分自身を振り返らせて尋ねています。比較しながらご覧下さい。

項目	設問内容	評価(%)	
		保護者	生徒
1	子どもは日常生活の基本的な挨拶はできている	87	96
2	子どもは時と場に応じた言葉遣いや行動が出来るようになってきている	83	95
3	子どもは社会のルールや学校の規則を守っていると思う	89	92
4	子どもの加入している部活動や校外活動のクラブは、子どもを成長させるのに役立っている	89	88
5	子どもは朝食を食べて登校している	94	94
6	家庭での親子の会話から、子どもの友人関係や学校での様子をほぼ理解している	86	76
7	家庭では、子どもと将来の目標や生き方、進路のことなどについて話すことがある	78	63
8	家庭での会話の中で、その時々ニュースなどについても触れるようにしている	77	67

《 集計結果からの分析および説明 》

*項目1、2、3について

- ・いずれも子どもの社会性や規範意識について問う項目です。生徒の自己評価に比べると、保護者の皆さんの見立ての方が厳しいようです。当然といえば当然ですね。子どもたちの体は大きくなっても、社会的にはまだまだ未熟で知らないことも多い。大切なことを教え導くのは大人の役目ですね。

*項目4について

- ・部活動に限らず、校外活動のクラブに参加している生徒もそれぞれの所属の中で活躍している報告がたくさん入ってきます。成績だけではなく、態度や礼儀作法についても学校部活動と同様に大切にして指導していただいております。こうした活動に熱中出来るということも、成長期の子どもたちにとって精神面での成長を促す重要な部分です。

*項目5、6、7、8について

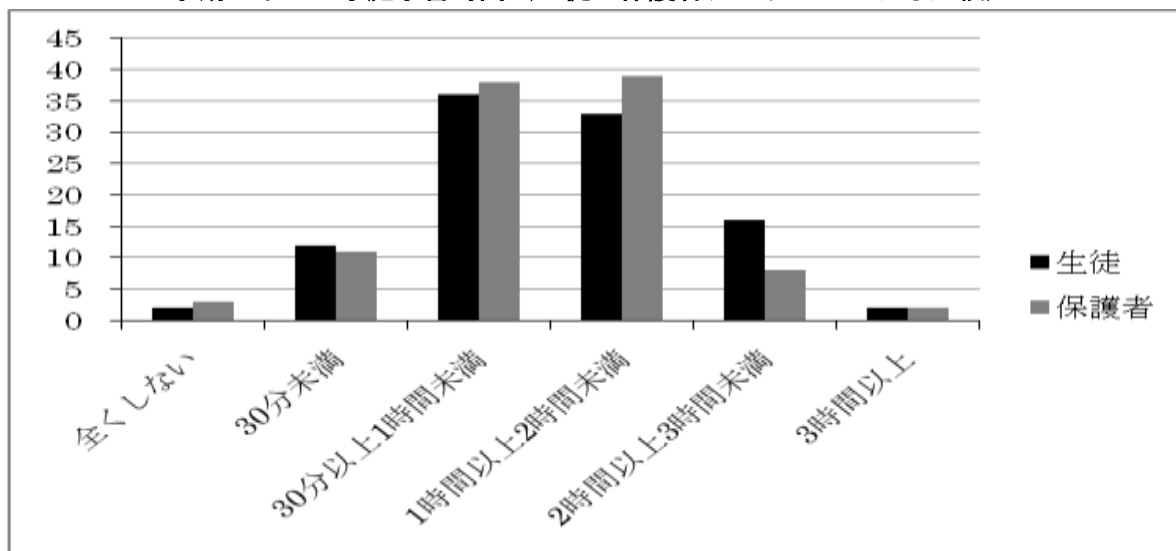
- ・主に家庭生活に関わる部分の設問項目でした。項目6については、我が子のことは理解できていると思っている親の割合、親は自分のことをよく理解してくれていると思っている子どもの割合、この2つの数字の微妙な違いに少し目を向けていただくと有り難い。思春期に差しかかっている子どもの内面は、出てくる言葉や見える行動からだけでは推し図れない部分がだんだん増えてきます。

・項目7, 8のような会話の機会や頻度がこれからとても大切になってくるのではないかと思います。

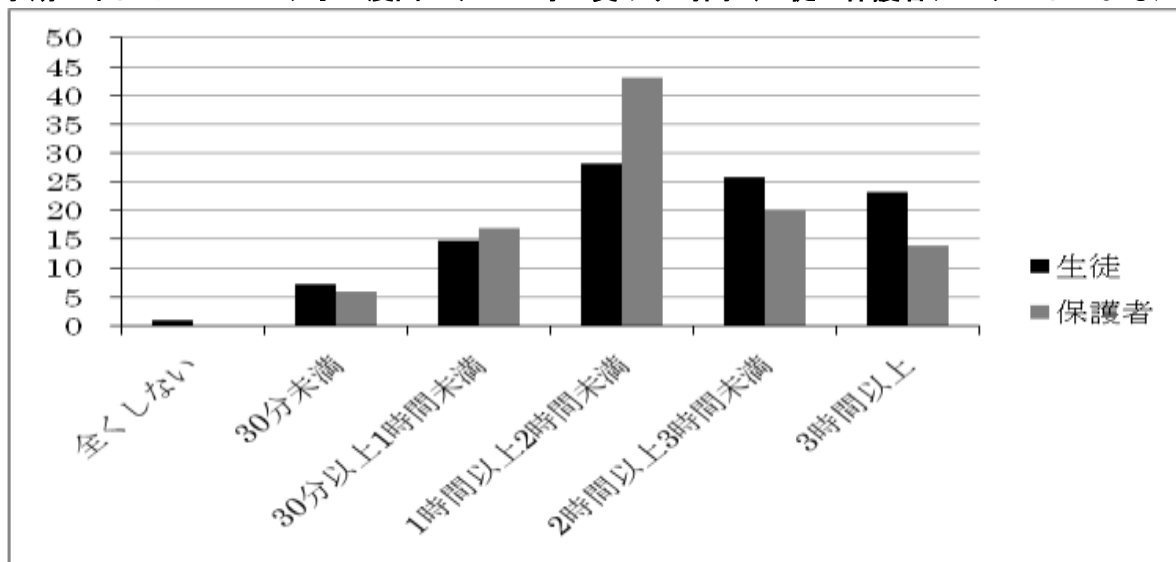
Ⅲ 平日の家庭学習時間／TV・ビデオ・ゲーム等に費やす時間について（生徒と保護者の比較から）

今回は平日の家庭学習時間調査とTV・ビデオ・漫画・ゲーム等に費やす時間調査を、生徒アンケート（自己申告）、保護者アンケート（我が子）の両方に行いました。両者の比較結果をグラフに表したものが以下のグラフです。縦軸は%を示しています。これは全校生徒で一括して示していますが、学年によりかなり状況が違います。

1学期 平日の家庭学習時間（生徒／保護者アンケートによる比較）



1学期 平日のTV・ビデオ・漫画・ゲーム等に費やす時間（生徒／保護者アンケートによる比較）



- ・上のグラフ（家庭学習時間）では、生徒と保護者との間にそれほど大きな差は見えませんが、下のグラフではややその差が気になります。子どもたちは親の見立て以上に多くの時間をTVやゲーム等に費やしているようです。（インターネットやメール等は省いています）
- ・こうした時間調査をしている一番の願いは、帰宅してから就寝するまでの家庭での時間の使い方についてのふり返りをぜひ親と子で行って頂きたいということです。よりよい学習習慣や生活習慣を身につけることが今の時期の子どもたちの心身の発達にとって何より必要なことだからです。健やかな子どもたちの育ちを願って、今後とも何卒ご協力の程、よろしくお願い致します。